

たはら歴史探訪クラブ

その8

百々神社(二)

今回は、百々神社の拝殿を飾る天井画の話をしました。が、ここにはまだまだ見どころがあります。境内の敷地は1000坪以上もあり、町内でも有数の敷地規模です。参道は、現在では国道42号線により寸断されていますが、その南にまで続いています。

拝殿に至るまでには、四段階も石段を登らなければなりません。一段階目の石段を登ると「村社百々神社」の石柱があり、右側には文政十三年(一八三〇)の銘がある手洗ひがあります。さらに一段階登ると「御神前」と正面に彫られた石灯籠が、左右両側に一對あります。裏には天保八年(一八三七)の紀年銘が彫られています。また百度参りするための「百度石」の石柱があり、これも天保八年に作られたものです。拝殿まで距離も高さもあるため、さぞかし大変なお参りであったことでしょう。石の鳥居の柱には次のように興味

深いことが彫られています。左側裏には「天保七丙申年 世話方 東ヶ谷 当処(百々) 西浜田 網元 若者」、右側裏には「一月吉日 岡崎石工 七左エ門」とあります。

ここの広場では、庭が注目されます。石組み、植栽の配置も巧みで、鯉が泳ぐ池には石橋を渡しています。手入れが行き届いて実に見事な庭です。

拝殿前の広場に行くと左右に文久二年(一八六二)の、あかりを灯す火袋が木製の常夜燈が一對あります。その左側には常夜燈があります。正面には「船中安全」と彫られています。裏には「天保二辛卯歳九月吉日」とあります。これらの石造物はすべて花崗岩で、現在も産地であり、製造も盛んな岡崎で作られたものでしょう。他にも大正・昭和時代の鳥居、灯籠などの石造物があります。町内を探してもこれほど江戸時代の石造物が豊富に残っている神社はありません。これらの石造物から、表浜での漁業を生業とする人々が篤く信仰した百々神社を見る事ができます。

拝殿西の奥にある稻荷社の本殿も貴重なものです。

文久元年に建てられた拝殿は、平成七年に建て替えられました。当時の建築様式を踏襲しています。新しい建築ですが、神楽殿があるのも注目されます。毎年春と秋には、小学生の女の子による神楽が披露されます。また、神輿が繰り出され、参道の南にある秋葉神社まで練り歩きながら神楽を演じます。このように、今でも厳粛な祭事が行われています。



▽田原町博物館 ☎ 22局 1720

広報たはらは、森林資源保護のため再生紙(古紙10%)を使用しています。

今月の表紙

「夢判断」で有名な精神分析学者フロイトは、いかなる信仰心も否定しました。彼は、宗教とは幻想であり、社会はいずれ科学的・合理的な思想に支配されるであろう、と考えていたようです。しかし、彼の没後約70年を経た現在、社会はますます複雑化し、人間はますます不合理的な生き物になりつつあります。

「私のために祈ってください」「祈り」とは信仰そのものです。無神論者のフロイトなら、この白いバーベナの花言葉を聞いて何と思っただでしょうか。

ユダヤ人の彼は晩年、ナチスの迫害を受けてロンドンへ逃れたとき、こんなセリフを残しました。「花を見ると心が休まる。花には感情もなければ葛藤もない。」

【人口と世帯数】

| | |
|-----|----------|
| 総人口 | 36,916人 |
| 男性 | 18,858人 |
| 女性 | 18,058人 |
| 世帯数 | 11,493世帯 |
| 出生 | 24人 |
| 死亡 | 15人 |
| 転入 | 67人 |
| 転出 | 66人 |
| 増減 | 10人 |

(平成13年10月1日現在・増減は9月中)

【行政面積】 82.86 km²

(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)